
情報番号：教育技法—13

テーマ：フィードバック技法

編著者：IBEX-T

1. フィードバック技法とは

フィードバックとは、もともとシステム工学からきた言葉で、「現在あるいは将来のインプットを制御、修正するためにプロセスから出てきた情報をインプットに送り返すこと」を意味する。研修でフィードバックといった場合は、討議プロセスで起こった状況や個人の行動を振り返らせ、それを次の段階に生かしていくことを意味する。

したがってフィードバック技法は、参加者に集団のメカニズムや対人関係の状況を理解させたり、討議プロセスを振り返らせて討議効率を高めさせたり、他の人からのフィードバックをもとに啓発目標を発見させたりする時に用いる。ただ組織開発でフィードバックといった場合は、部門間の葛藤等の問題を解決するためのアンケート調査も含まれてくるため、意味が若干異なってくる。

何を振り返らせるかによって、進め方も活用するチェックシートも異なるが、どれも「here and now（いまここで）」が原則となる。この技法を活用するためには、意見の対立や討議の葛藤場面が必要となるため、それが起こる問題解決や対人関係の研修で活用されることが多い。